

柏原市図書館協議会議事録

日時：平成 20 年 5 月 27 日（火）10：00～12：00

場所：柏原市立柏原図書館 3 階会議室

出席委員

（議長）会	長	星子都美子	（学識経験者）
	副 会 長	高嶽裕樹	（大阪教育大学図書館講師）
	委 員	中谷久子	（学校教育関係）
	委 員	奥田豊子	（社会教育委員）
	委 員	吉見静香	（社会教育委員）
	委 員	西森葆彦	（こども会育成連絡協議会）
	委 員	名山めぐみ	（PTA 母親代表）
	委 員	嶋原貞夫	（公民館運営協議会）
	委 員	中村幸平	（市議会議員）
	委 員	山下亜緯子	（市議会議員）

（教育委員会）

教育部長 前 芳冶

（事務局）

次長兼図書館長 中垣善和
主 幹 真野繕意
主 査 北野良一
主 査 八幡敏朗

開 会 午前 10 時

司 会 只今から平成 20 年度柏原市図書館協議会を開会いたします。すでに、委員の皆様にはお伝えしておりますが、柏原市まちづくり条例第 15 条により公開が規定されております。これにもとづき本日の協議会は、公開とさせていただきますのでよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、協議会開会にあたりまして、星子会長よりご挨拶をお願いいたします。

会 長 星子でございます。何も知らない一市民ではございますが、図書館が好き、本が好きということで図書館ボランティアをさせていただいております。そういうことからこの協議会にも長い間参加させていただいております。今年は、年度がかわっての第 1 回目の会議です。より良い図書館、市民の図書館づくりをするため皆さんとの活発な話し合いができればと思います。どうかよろしくお願ひいたします。

司 会 続きまして、柏原市教育委員会 前教育部長より挨拶があります。

教育部長 本日、委員の方々にはお忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。本・書籍は人間の知的財産です。しかし近年、若者の読書離れがさげばれていきます。学校等におきましては朝の読書体験を実践している学校が増えてきて

おり、柏原の6割の学校が実践する中で、少しずつ子供達の読書習慣が増えて
います。インターネットとか携帯電話が盛んで情報が色々なところから
とれるのですが、やはり本に親しむということが本当に大切ではないかなと思
っています。図書館は子供たちに対してだけでなく生涯学習の核にならねばな
らない。私たちは図書館を利用していただくために3つの大きな目標をたてて
実施しております。市民の求める資料の提供サービス。児童への読書サービス。
自動車文庫での全域サービス。これら3つを目標といたしまして、IT化も含
めて促進化を図って、幼児から高齢者までご利用いただけるよう努めておりま
す。後ほど、事務局より19年度の事業報告、20年度の事業計画の説明がある
と思いますが委員の皆様方から色々ご意見を出していただき図書館発展のため
ご協力いただけますようお願い申し上げます。最後になりましたが、まちづく
り基本条例により、協議会の傍聴ということで、市民の皆様にもご出席いた
いております。皆様方には図書館発展のため、ご協力いただけますようお願い
申し上げます。簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

司 会 (委員並びに事務局の紹介)

それでは、協議会条例第5条第1項により会長が議長を務めることになって
おりますので星子会長に議長をお願いし、議事の進行をお願いします。

議 長 それでは、進めさせていただきます。資料1「平成19年度図書館活動の事業
報告について」事務局から説明願います。

事務局 平成19年度の図書館活動の報告をさせていただきます。昨年度に比べ、どう変
わっているかという点を中心に要約してご説明いたしますので、よろしく願
いいたします。お手元の資料1、「柏原市の図書館」という冊子をご覧ください。
1ページに基本方針、2ページ目が沿革、平成19年4月よりインターネットで
の図書予約を開始いたしましたので、その旨を加えさせていただきました。組
織・予算、柏原図書館・国分図書館の館内図の説明、サービスの概要等、写真
をいれ見やすくいたしました。

次に利用統計の説明をさせていただきます。平成20年末の蔵書数は、197876
冊です。これはAV資料を含む全ての資料総数です。実利用者数は、13201
人。18ページは、最近5年間の利用の推移、並びに開館以来の館別貸出冊数
の推移です。昨年度と比較しますと、昨年の総貸出冊数が420141冊でした
からマイナス5738冊貸出が少なかったこととなります。これは、館別では
柏原図書館の貸出は増えていますが、国分図書館の方が、昨年度より7690冊
の減少だったことが大きな要因です。特に国分図書館の児童書が昨年度に比べ
4145冊も減っています。国分図書館で土曜・日曜の児童による利用が減って
います。反面、柏原館も国分館もともに61歳以上の利用者が増えています。
次にインターネットによる予約について(22P・23P) 前回一度報告させ
ていただきましたが、ご自宅のパソコンから図書館の本を予約できるサー
ビスです。昨年4月より開始しました。結果、予約が増えました。昨年在9726件、
今年は10755件。その総予約の内、WEB予約は12.5%をしめています。

注目すべきは、利用時間で夜の10時以降、深夜1時までよく利用されています。

昼は、婦人の利用が多くなっています。データの更新時間帯の明け方 5 時以外はいつでも予約できる等、利用されている方々には大変喜んでいただいています。次に図書館行事は、30 ページから 34 ページに掲載いたしました。てんとう虫の会、並びに図書館ボランティアぶっくパフェの皆様方の多大な協力をいただき、子どもたちに喜んでいただいております。私からは以上です。続けて北野主査よりブックスタートの報告をさせていただきます。

議 長
事務局

お願いします。

資料 2 でお願いします。事業の目的ですが、

ブックスタートは、少子化、核家族化の進行に伴い、子育て不安や育児ストレスに悩む若いお母さんがたのために、赤ちゃんに絵本を読み聞かせる事の大切さを広め、絵本を通して親子が語り合い、ふれあう機会をつくる等を目的として、平成 16 年 11 月から実施しています。具体的には、柏原ライオンズクラブ主催、図書館ぶっくパフェさんのご協力により、保険センターの 4 か月検診の場に図書館の職員が出向き、事業の説明や絵本の読み聞かせ方法、赤ちゃん向きの絵本の紹介など、図書館ボランティアの方々にご協力をいただき読み聞かせの実演などを行っています。特に赤ちゃんへの授乳やミルクを与えることが体の栄養なら、本の読み聞かせの方は、心の栄養ということを保護者に伝えるということで実施しています。

議 長
事務局

ありがとうございました。続いて平成 20 年度の図書館行事内容についての説明をお願いします。

資料 3 をお願いします。柏原図書館・国分図書館の年間の図書館活動内容を掲載しております。柏原図書館でございますが、土曜日はボランティアのてんとう虫の会による「紙芝居とお話の会」を開催、水曜日にぶっくパフェのプチライブ。8 月と 3 月には「お話パクパク」を多目的室で、12 月にはてんとう虫による「てんちゃん祭り」を行っていただく予定でございます。1 年間を通してその時々話題に即した本の展示を図書館の方でやる予定です。

次に国分図書館でございますが、毎週土曜日を中心に柏原図書館と同様にお話を年間をとおして開催する予定です。それ以外には日曜日に国分図書館職員によるお話の会を開催する予定でございます。

また、先ほど紹介いたしましたブックスタート事業につきましても今年度も健康福祉センター「オアシス」で実施する予定でございます。

それから、行事予定としまして、11 月 8 日に市制施行 50 周年記念・図書館開館 30 周年記念の子ども読書推進をテーマに長谷川義史さんの講演を予定しております。また、図書館に関する三市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市の基本協定の締結を考えております。現在、中河内の東大阪市、八尾市、柏原市におきましては中河内地域の広域行政圏における図書館サービスの充実ということから、それぞれの図書館で自由に本が借りれるようになっています。それと同様に羽曳野市、藤井寺市、柏原市の三市間でも本が借りれないかということで現在協議中でございます。

議 長

はい、ありあとうございました。今までの報告で、なにかご質問はありませんか。

- 委員 私自身、この図書館で年間 100 冊ぐらい貸していただいているのですが、先日この文化センターの児童書のコーナーで雨が降りました。2 階の調理室から漏れた水が配管を伝わって児童室に漏れてきたんです。「どないなっているの？」と聞きますと何回かありますとの事、建物の修理費にはなかなか予算がつかないと聞いていますが、そのへんはどうなっているのでしょうか？児童書が濡れて廃棄されたと聞いていますが？
- 議長 今まで何回ぐらいあったんですか？現状はどうなんですか？
- 事務局 児童室の上が調理室になっておりまして、その排水管を伝わり落ちてきたようです。公民館の方ですぐに修理を行い、それからは漏れていません。過去公民館の調理実習の時に 3・4 回ありました。その時はバケツで雨漏りを受け本を別置しました。廃棄するまで多くはないですが、水にぬれると利用者に出しにくくなります。対応が早く利用者が濡れるようなことはありませんでした。
- 委員 この建物が老朽化しているのは事実なのですが、修理をしても何度もある、その対応をきちんとやってもらいたい。
- 議長 水漏れは協議会で始めて聞く話です。いつごろからあるんですか？
- 事務局 調理室の使用頻度が多いときにおこるようです。7~8 年前からでしょうか。
- 委員 図書館の駅前移転がなくなった以上、この建物でやっていかなければならない。ですから、ここをもう少し大事に使っていかなければならないのももう少し考えてもらいたい。
- 議長 市民からの苦情解決は、こういう場で、こう解決いたしましたという報告が欲しい
- 委員 水もしたたる図書館ですね。どうなんでしょうか。
- 委員 他館でも雨漏りのケースはあります。例えばある館は 2 階の特殊資料室で雨漏りがしたとのことを聞きました。それはしょうがない。早急に改善していただくしかないです。
- (19 年度の報告冊子の開館日数転記ミスを指摘、修正を事務局に依頼、「両館の開館日数は 337 日」と修正、冊子の差し替えを約束)
- 委員 登録率について、70%となっているが、V の実質利用者数を登録率ととらえると登録率は 17% になり非常に低い数字になる。報告の仕方を「もうちょっとなんとかならないのでしょうか？」
- 委員 この登録者数は、積み上げですね？、亡くなった方を消していっていないのでは？
- 事務局 はい、申告がない限り、開館以来登録された方は、そのままデータ上生きています。実績の指標の中では、この形式を使用していましたが、登録率として正確に把握するにはご指摘のとおり、実質登録率でわるのがより正確な数字になると思います。
- 委員 他市の統計がそれぞれのやり方なのでむずかしいものがあると思いますが、平均でいくと 40% ぐらいだと思うのですが、柏原市と同じやり方のところも多いため、40% になっていると思います。やはり、25% ぐらいが普通だと思います。
- 議長 いままでカードを作っている人が、全部残っている、私の家族もそうですが、実際は私しか使わない。実際に利用した人を考えてやらないと正しくでない。そういうことですね。
- 委員 登録者数として出すのは、これでいいのですが、実績の指標として出すのには間違

いがあるということです。柏原市のサービスが、日本の平均から言うと残念ながら高くない。それに対して改善の計画をお持ちなのかどうか。例えば5年間一度も利用がなければ、そのカードは使えないとかやっているところもある。

議長 登録率70%という数字にとらわれずに、実際に利用している人がどれだけかを考えて市民サービスを行っていただきたいということですね。

委員 1年前と比べて、現在のサービスがどうなっているのかが非常に大事になってくる、一方でさほど活発でない図書館においては、全国的な平均の数字にどれだけ近づけていくかが非常に大事です。少なくとも標準を下回っている図書館は標準に近づけるべきである。柏原市の状況を見る限り標準には達していないかなと感じます。そこからなんらかの改善が必要ではないかなと思います。図書館でよく使われているのは、蔵書回転率、それから貸出密度など。かりに市民が本を買ったとしたら、本を買うお金を図書館に渡したとしたらどれだけのサービスができていますか、貸出冊数に図書の本の平均単価をかけたもの、市民が本を借りる代わりに買ったとしたらいくらかかるか。図書館があることでそれがいくら削減できたか。柏原は数字をみると、貸出のあまりない本を抱えているのかなと思います。

議長 書庫に入ってしまった本がたくさんあるということかな？

委員 図書購入費が1000万あるということですが、購入冊数はどれだけあるんですか
事務局 19年度は7676冊です。

委員 図書館の資料の5分の1ぐらいが更新されていくのが望ましいといわれています。図書館を研究している調査グループの報告からなんですが「新鮮度」がとても大事なことです。かりに蔵書冊数を減らしても新鮮な本が増えたほうが利用がある。だから新しい図書館は最初は利用がある。それを新しいままにしておけるかどうか、どれくらい本を廃棄できるか、こういう問題なんです。

(録音機器故障のため抄録)

事務局 国分図書館の方は、開館してから、まださほど経たない為、新しい本が回転しています。また、国分はすべて開架という形をとって運営しています。反面、柏原図書館の書庫は開館以来から残っている本もあり、国分図書館に転用できる本を除くと古い本が大部分です。これらの本は書庫に保存しています。この書庫の本は当然回転率が落ちます。また、図書購入費も2館(柏原館と国分館)で1000万円ですので、利用者の購入希望やその週ごとに出る話題の新刊本を購入するだけで精一杯です。回転率を高める努力として督促を頻繁に行なっています。柏原図書館では、面白い本を出来るだけ来館者の目にふれる工夫をして「新鮮度」をあげるよう努力いたしております。

委員 除籍冊数も載せるようにしてはどうですか。またレファレンス件数も図書館が市民の質問にどれだけ答えられたかということも大事なので、今後、報告に載せていただければと思います。

議長 国分図書館の児童書の貸出が減っているとの報告ですが、その辺はどうですか？

事務局 国分図書館は、児童書の貸出とAV資料の貸出が減っています。特に2階は児童図

書館としていますので、児童の貸出を増やしていかなばならないと考えています。また、AV資料、とりわけビデオ・DVDですが、非常に高価な為、購入できていません。同じビデオが回転していることが原因です。柏原図書館のビデオ、VHSですが、国分に移管するなど工夫しておりますが、社会全体がVHSからDVDに変わっている現状からも利用が少なくなっているようです。

委員 市内のビデオ店もどんどんなくなってきたね。

事務局 限られた予算の中での運用なので、どうしても本主体で購入せざるをえません。

また、AVを館内で聞くヘッドホンなど破損しやすく、修理に費用がかかります。できれば、本来の図書の貸出に力をいれていきたいと考えています。

委員 前回も発言させていただいたが、今日、活字離れが大変進んできている。

本は、人間のイメージの拡大に大変有用です。その意味でテレビやビデオから離れた読書の大切さを訴えたい。

委員 図書館は、本の貸出に力をいれ、ビデオから手を引いてもよいのではないですか？
(ほか各委員から、賛同の意見多数あり)

議長 予算も限られていることですし、本で勝負するというのでいいのではないのでしょうか。国分図書館2階は、子ども図書館とうたっているのも、もっと子ども達を呼べるよう工夫していく必要がありますね。

それでは「平成20年度図書館事業の計画」については何かご質問はありませんか？

委員 藤井寺市・羽曳野市とも相互協力を進めて行くということですか

事務局 そうです。すでに、八尾市・東大阪市とは相互協力を行なっています。これは、八尾市民・東大阪市民が柏原市の図書館の図書を利用できるということで、反対に柏原市民も八尾市の図書館を利用できます。同様に藤井寺市・羽曳野市とも連携できないかだろうかと考えています。すでに大阪府立図書館が、府内の図書館をネットワークでつなぎ、自館にない図書を連絡車を使い市町村の図書館に図書を貸出してもらっています。各館とも限られた予算の中で、利用者の全ての読書要求に答えるためには、府立をはじめ近隣館が相互に協力をしていかなば、今日市民の多様な要求にこたえられません。そこで、近隣館については連絡車を走らせておりましたが、相互の市民からもっと気軽に利用できないかとの要求に答えるものです。

委員 すでに八尾市・東大阪市と行なっているとのことですが、利用はどうですか。

事務局 柏原市民とりわけ、柏原地区の方々は、八尾市の志紀図書館をよく利用されています。

委員 他市では、相互協力を行う条件として、行政サービスの一部を負担するとか考えてやっているようです。

委員 藤井寺市の人は川北があるから、こちらにくるかもしれないね。相手があることだから、なかなかむずかしいね。

事務局 現在、そのへんを対象館と協議しております。

委員 最近、どこの図書館でも本に落書きをするということが増えているそうですが柏原図書館ではどうですか、学校図書館の本でも時に落書きがあり子ども達に注意を促しています。

事務局 当図書館でも、落書きがあります。本や雑誌を棚の後ろに隠す等の方もおります。

委員 それは、後で読もうとしてやったのかな

事務局 利用におけるモラルの問題なので、今後、啓発活動に力をいれていきます。

委員 広域利用状況の相互利用の協力についてなんですが、八尾市民はどのくらい柏原図書館を利用しているんですか。

事務局 10452冊です。八尾市の図書館の方では、柏原市民に年間6万冊貸出していると聞いています。

委員 他館は相互利用をメリットとデメリットを考えてやっているようで、そのへんは？

事務局 八尾市と柏原市が相互利用を開始したのは、中河内広域行政圏の相互協力という市行政主導で昭和58年に始まったもので、当初、八尾市立図書館は、八尾市役所前に1館だけでした。それが志紀に八尾市の図書館ができ、柏原市に隣接していることもあり、柏原市民はよく利用され、喜ばれています。その縁で相互に図書の貸借りを頻繁に行なって、お互いの予約処理に大変役立っています。

議長 ほか、何かご意見はございませんか？

委員 移動図書館の駐車場が、どこにとまっているのかよくわかりません。駐車場の地図を作っただけではないでしょうか？

事務局 対処いたします。

委員 八尾市民も柏原の図書館で本が借りられるんですね。事務局 そうです。すでに貸出しています。

議長 ほかにどなたかご意見はありませんか
(12時近くになり、退出委員が出てきたため閉会となる)

議長 本日は大変活発なご意見をいただきありがとうございました。
時間になりましたので最後に副会長から挨拶をお願いして終わりたいと思います

委員 (閉会の挨拶)

司会 以上を持ちまして、平成20年度図書館協議会を終了いたします。
ありがとうございました。